



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL http://www.ssu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 (氏名) 相田 俊充 TEL 03-6894-3233
 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	3,233	△16.0	△17	—	18	△44.3	△28	—
26年6月期第1四半期	3,846	14.9	32	△88.7	33	△88.4	5	△97.3

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △39百万円（－％） 26年6月期第1四半期 30百万円（△85.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△7.97	—
26年6月期第1四半期	1.44	1.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	6,208	1,805	26.9
26年6月期	5,613	1,906	31.6

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 1,672百万円 26年6月期 1,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,836	△12.1	26	△49.4	48	△50.7	0	△90.6	0.23
通期	11,610	△6.7	287	463.5	332	116.2	183	—	51.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期1Q	3,545,600株	26年6月期	3,542,400株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	74株	26年6月期	74株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期1Q	3,544,483株	26年6月期1Q	3,535,423株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、本年8月に中長期経営計画「Road to 2020 and beyond」を発表し、計画達成に向けて「アジアを重点地域とするグローバル化」及び「ストック型ビジネスへの事業開発フォーカス」の二軸を掲げて事業に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間においては、海外企業に対する日本のパートナーとして日本市場でのマーケティング・PR業務を支援する「グローバル・コミュニケーションズ ユニット」を始動するとともに、株式会社サニーサイドアップキャリアを設立し、マーケティングコミュニケーション領域で多彩な成功実績を収めてきた当社グループ独自の視点とノウハウを結集した人財ソリューションの提供を開始する等、経営計画実現に向けて新たな挑戦を続けています。その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,233百万円（前年同期比16.0%減）、営業損失17百万円（前年同期 営業利益32百万円）、経常利益18百万円（前年同期比44.3%減）、当期純損失28百万円（前年同期 四半期純利益5百万円）となりました。なお、前連結会計期間中にWIST INTERNATIONAL LIMITED（以下WIST社）を連結子会社から除外したために対前年同期で減収、また、中長期的な成長に向けた新規事業開発における投資が先行しているため、及び、SP・MD事業において期中には相殺を見込むものの一部案件において一時的にまとまった費用が発生したために減益を招いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①マーケティング・コミュニケーション事業

PR、プロモーション、デジタル、広告制作、キャスティング等、得意先企業へ総合的なマーケティング・コミュニケーション支援を行い、当社グループの中核と位置付けている本事業は今期においても好調に進捗しております。菓子・飲料・製薬等の外資系クライアント及びレギュラークライアントである大手CVSからの継続的受注、及び、短期的な大型キャンペーン受注に成功する等し、その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,552百万円（前年同期比4.1%減）となりました。なお、前々期の設立以来成長を遂げている株式会社クムナムエンターテインメントの収益を開発事業からマーケティング・コミュニケーション事業に移管しております。

②SP・MD事業

購買接点における優位性の発揮を主眼にしたマーケティングソリューションを提供するSP・MD事業では、日本で成功したキャンペーンのアジア・欧州展開といった拡大受注に成功する等、事業領域のグローバル化を進行させております。前連結会計期間中にWIST社を連結子会社から除外した影響による売上減少にも、新たな調達先の開拓で利益率向上を図る等、収益力の改善に全社を挙げて取り組んでおり、短期間での集中した体質変革に挑んでおります。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は763百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

③スポーツ事業

日本におけるスポーツビジネス発展の一翼を担ってきた当社のスポーツ事業は、従来の肖像権ビジネスだけに依存しない、スポーツがもつ更なる可能性を引き出すためのビジネスモデル変革にいち早く取り組んでおり、今後も常に世界の注目を集めるスポーツシーンで事業を展開してまいります。五輪関連案件の受注も着実に推移しておりますが、東京五輪を見すえた中長期プロジェクトへのリソース投下等の影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は153百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

④bills事業

世界一の朝食としての高いブランドロイヤルティを提供し、圧倒的といえる人気を獲得しているカジュアルオーレダイニング「bills」は、好調な国内店舗に続き、平成26年3月には当社グループによる海外進出第一号店となるハワイ店を、そして、10月には海外第二号店を韓国にオープンし、中期的な成長を目指して海外展開への挑戦を続けております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は757百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

⑤開発事業

当社グループの中長期的な成長を推進すべく従来のビジネスに捉われない当社独自の事業創造に注力する開発事業では、レストラン「bills」、続いて、著名人のキャスティングを軸としたマーケティング支援やコンテンツビジネスを展開するクムナムエンターテインメント社などの主要な事業を生み出し当事業からスピアアウトさせてきました。現在においては、アジア、東京五輪、人財等をキーワードに事業を育成しており、投資段階及び運用初期段階の案件で構成されているため、当第1四半期連結累計期間の売上高は5百万円（前年同期比73.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、6,208百万円（前連結会計年度末比595百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が4,071百万円（同522百万円増）、固定資産が2,137百万円（同73百万円増）であります。また、負債合計は、4,403百万円（同696百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が3,610百万円（同721百万円増）、固定負債が793百万円（同24百万円減）であります。純資産合計は、1,805百万円（同100百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては現時点において、平成26年8月13日に発表しました平成26年6月期決算短信に記載しております平成27年6月期の連結業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の移動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社サニーサイドアップキャリアを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,001,512	820,128
受取手形及び売掛金	1,838,638	2,483,618
商品及び製品	3,720	3,454
未成業務支出金	208,760	364,010
原材料及び貯蔵品	15,131	16,856
その他	488,022	393,188
貸倒引当金	△7,191	△10,112
流動資産合計	3,548,593	4,071,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	820,890	832,808
土地	520,818	520,818
その他(純額)	306,547	357,598
有形固定資産合計	1,648,256	1,711,226
無形固定資産		
のれん	22,881	23,383
その他	9,291	7,939
無形固定資産合計	32,172	31,323
投資その他の資産		
その他	432,311	451,577
貸倒引当金	△48,216	△56,390
投資その他の資産合計	384,094	395,187
固定資産合計	2,064,523	2,137,737
資産合計	5,613,117	6,208,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,011,490	1,247,737
短期借入金	1,066,610	1,627,104
1年内返済予定の長期借入金	263,790	257,289
未払法人税等	141,895	50,810
賞与引当金	-	2,436
その他	405,245	424,694
流動負債合計	2,889,032	3,610,072
固定負債		
長期借入金	311,551	273,849
資産除去債務	48,180	48,420
その他	457,608	470,765
固定負債合計	817,340	793,035
負債合計	3,706,373	4,403,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,245	453,746
資本剰余金	513,845	514,346
利益剰余金	801,543	702,433
自己株式	△106	△106
株主資本合計	1,768,528	1,670,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,180	3,388
為替換算調整勘定	4,074	△1,330
その他の包括利益累計額合計	7,254	2,058
少数株主持分	130,961	131,146
新株予約権	—	2,148
純資産合計	1,906,744	1,805,773
負債純資産合計	5,613,117	6,208,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,846,652	3,233,034
売上原価	3,463,234	2,887,137
売上総利益	383,417	345,897
販売費及び一般管理費	350,932	363,730
営業利益又は営業損失(△)	32,485	△17,832
営業外収益		
受取利息	53	292
受取家賃	9,654	12,515
為替差益	—	32,877
その他	1,107	994
営業外収益合計	10,816	46,678
営業外費用		
支払利息	3,140	2,480
持分法による投資損失	1,137	556
為替差損	306	—
賃貸費用	5,009	3,939
その他	669	3,468
営業外費用合計	10,262	10,444
経常利益	33,039	18,402
特別損失		
固定資産除却損	—	13
固定資産売却損	—	1,989
減損損失	10,593	—
特別損失合計	10,593	2,002
税金等調整前四半期純利益	22,445	16,399
法人税等	77,102	50,423
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,656	△34,023
少数株主損失(△)	△59,760	△5,760
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,103	△28,263

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,656	△34,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	792	208
為替換算調整勘定	△926	△5,404
持分変動差額	85,013	—
その他の包括利益合計	84,879	△5,196
四半期包括利益	30,222	△39,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,458	△34,203
少数株主に係る四半期包括利益	△21,235	△5,017

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD事業	スポーツ事業	bills事業	開発事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,619,455	1,436,149	152,533	616,097	22,415	3,846,652	—	3,846,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	11,502	1,000	395	—	12,922	△12,922	—
計	1,619,480	1,447,651	153,533	616,493	22,415	3,859,575	△12,922	3,846,652
セグメント利益又は損失(△)	211,002	△89,870	10,709	12,999	△5,283	139,558	△107,073	32,485

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,222
全社費用(注)	△108,295
合計	△107,073

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

SP・MD事業において、WIST INTERNATIONAL LIMITEDにおける事業環境及び業績等を勘案して回収可能額を評価した結果、第1四半期連結会計期間末におけるのれん未償却残高の全額を減損損失(10,593千円)として特別損失に計上いたしました。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	S P・MD 事業	スポーツ 事業	bills 事業	開発 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,552,630	763,368	153,314	757,847	5,873	3,233,034	—	3,233,034
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,500	216,099	—	604	900	219,103	△219,103	—
計	1,554,130	979,467	153,314	758,451	6,773	3,452,138	△219,103	3,233,034
セグメント利益 又は損失(△)	234,026	△68,307	△5,338	△20,877	△17,945	121,558	△139,390	△17,832

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	9,357
全社費用(注)	△148,748
合計	△139,390

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来、「開発事業」に含めていました株式会社クムナムエンターテインメントの事業を「コミュニケーション事業」の区分に変更しております。また、「コミュニケーション事業」の名称を「マーケティング・コミュニケーション事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。